第１６７８回島根県教育委員会会議　会議録

日時	令和８年７月22日
自	13時30分
至	15時15分
場所	教育委員室

Ⅰ　議題の件名及び審議の結果

－公　開－

（議決事項）

第５号　島根県立特別支援学校規程の一部改正について（特別支援教育課）

――――――――――以上原案のとおり議決

（報告事項）

第19号　産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業の採択結果について（総務課）

第20号　令和９年度島根県市町村立小・中学校等校長人材希望制度申請結果について（学校企画課）

第21号　島根県社会教育委員の改選について（社会教育課）

第22号　島根県立図書館協議会委員の改選について（社会教育課）

第23号　石見銀山発見５００年島根県記念事業について（文化財課）

――――――――――以上原案のとおり了承

－非公開－

（議決事項）

第６号　令和９年春の叙勲候補者の推薦について（保健体育課）

第７号　島根県文化財保護審議会に対する諮問について（文化財課）

――――――――――以上原案のとおり議決

（協議事項）

第１号　令和９年度全日制県立高校の各圏域における入学定員について（学校企画課）

――――――――――以上資料により協議

（報告事項）

第24号　特別支援学校における災害共済掛金に係る保護者負担金の誤徴収について（総務課・学校教育課）

――――――――――以上原案のとおり了承

Ⅱ　出席者及び欠席者

１　出席者【全議題出席】
井手教育長　生越委員　黒川委員　植田委員　髙島委員　福島委員

２　欠席者
なし

３　島根県教育委員会会議規則第１４条の規定に基づく出席者

京谷副教育長	全議題
伊藤教育監	全議題
野々内教育次長	全議題
神谷教育次長	公開議題
村上参事	公開議題　議決第７号
梅木教育センター所長	公開議題
瀧総務課長	全議題
井上総務課上席調整監	公開議題
澤井総務課調整監	公開議題
和田教育施設課長	公開議題
竹﨑学校企画課長	公開議題
和田学校企画課管理監	公開議題
大庭県立学校改革推進室長	公開議題　協議第１号
登城学校教育課長	公開議題
椿義務教育推進室長	公開議題
伊藤幼児教育推進室長	公開議題
安食子ども安全支援室長	公開議題　報告第24号
石井教育連携推進課長	公開議題
清水教育ＤＸ推進室長	公開議題
八束特別支援教育課長	公開議題
米原保健体育課長	公開議題　議決第６号
横地社会教育課長	公開議題
勝部人権同和教育課長	公開議題
池淵文化財課長	公開議題　議決第７号
山本世界遺産室長	公開議題　議決第７号
原田古代文化センター長	公開議題
安部福利課長	公開議題

４　島根県教育委員会会議規則の規定に基づく書記

樋口総務課課長代理	全議題
奥村総務課課長補佐（人事法令）	全議題
昌子総務課主任主事	全議題

Ⅲ　審議、討論の内容

井手教育長　開会宣言　13 時 30 分

公　開	議決事項	１件
	承認事項	０件
	協議事項	０件
	報告事項	５件
	その他事項	０件
非公開	議決事項	２件
	承認事項	０件
	協議事項	１件
	報告事項	１件
	その他事項	０件
署名委員	植田 委員	

－公　開－

議決第５号　島根県立特別支援学校規程の一部改正について（特別支援教育課）

○八束特別支援教育課長　（資料を一括説明）

○黒川委員　５ページの新旧対照表の「生徒等が成年者の場合の特例」について、「生徒等」というのが新しい方だと思うが、「生徒」から「生徒等」に、等を付けたのは、どのようなことを想定されるのか。

○八束特別支援教育課長　「生徒」というのが当該学校の生徒という意味であり、今回の場合、入学志願者でまだ生徒でない者もいるので、そういったものが等に入るということである。

○黒川委員　分かった。

―――原案のとおり議決

報告第19号　産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業の採択結果について（総務課）

○瀧総務課長　（資料を一括説明）

○生越委員　残念ながら江津地域新設校が不採択になったということだが、新設校としてスタートする上で、ハード面でもソフト面でも環境が整うというのは非常にありがたい。是非、採択されて欲しい。話せる範囲で結構なので、不採択になった理由が文科省から示されているのであれば教えていただきたい。

　他にもいろいろな意見があるかと思うが、20億円というような高価なものを１校にするのであれば、全県の高校を生活しやすい環境に整えてほしいという思いがあるのだが、そういったことに関しては県として動きや声はないのか。

○大庭県立学校改革推進室長　この事業では、2040年までの将来推計をもとにしてどのような人材育成をするかということで、どの類型も申請しており、江津地域の新設校についてはアドバンス・エッセンシャルワーカーという類型で、産業人材を育成するという趣旨での申請を行った。その中で、申請内容については良いのだが、申請の方法としてどういった人材を育成するか、そのためにどのような教育課程を組むのか、今回申請した機器等をどのように活用するかなど、もう少し具体的な説明が必要という趣旨の指導があった。これを元にして再申請を行うという流れになっているので、文科省からの指摘を受けて、その流れに沿った

再申請の準備を進めているところである。
○瀧総務課長　後半の御質問に対してお答えさせていただく。１校に対して大きな金額ではなく、全ての高校の底上げをという御意見だと思っている。
　県教育委員会としても、そういったことは必要であると思っており、春に行った重点要望においても要望しているところである。
　基金事業については既に形が決まって行われている事業であるが、基金事業に続く支援制度として、仮称で「高等学校教育改革交付金」という交付金制度が作られると聞いている。その事業については、今後高校教育の全般的な底上げができる柔軟な制度となるようにという要望を行っており、今後ともしっかりと伝えていきたいと考えている。
○髙島委員　江津地域新設校が不採択になったが、産業を担う人材育成の拠点として次は採択になればいいと思う。また不採択になる可能性があるかもしれないが、不採択となった場合、教育内容に影響が出ないか心配している。県として十分に支援をしていただきたい。
○大庭県立学校改革推進室長　当初より統合新設校については工業系の学科が２つ、普通科系の学科が２つという枠組みが決まっている。また、工業系については、現在の機械、電気、建築に加えて建築都市工学系の学科を新たに新設するという流れで考えているが、この決まっていることに沿って今回の申請をしている。そのため、学びの内容が今回の不採択によって変わってしまうことはないと考えている。これまでの新設校での方向性が今回の事業に合致するということで申請をしたと考えており、これまでの新設校の準備で進めてきた議論をこのまま丁寧に進めて、新設校自体が魅力あるものになるようにしていきたい。
―――原案のとおり了承

報告第20号　令和９年度島根県市町村立小・中学校等校長人材希望制度申請結果について（学校企画課）

○和田学校企画課管理監　（資料を一括説明）
○植田委員　対象自治体が４つあるが、ここの自治体には直接行って説明されたのか。
○和田学校企画課管理監　直接出向いての説明はしていないが、今年度もこの制

度を行うと電話で連絡を取っている。一昨年度初めてやった年は、市町村教育長会議の場で全体に対しての説明をして、制度について理解をしていただいていると思っている。

○植田委員　制度についてはおそらく理解をされていると思うのだが、４つの自治体の中で申請校が１つというのは寂しい気がする。それぞれの自治体によって課題など違うと思うので、可能なら直接お話に行かれて、それぞれの自治体に少しでも合致するような進め方をしてもらえれば申請校も増えていくだろう。メリットがあるような制度になれば、もっと有意義な申請も出てくるのではないかと思うので検討していただきたい。

○和田学校企画課管理監　先ほどいただいた御意見については次年度のところで、どうしていくのか考えていきたい。御意見として承る。

○黒川委員　このたびの申請校で海士町立海士中学校が、この島に来ていただきたい校長像というのをこのように表してくれている。島としてもこのように変わりたいというところがあると思うので是非決まっていただきたい。自分の思いとしてはそうなのだが、例えば、和田管理監が校長先生だとして、このような制度があるならば、皆さんが行きたいと思われる制度なのかということをお聞きしたい。

○和田学校企画課管理監　海士町でいろいろと考えていただいて、特に町村としての配慮事項というところを挙げていただいているので、ここの部分が希望する校長にとっては一番大きな魅力だと思う。そういう配慮面で様々なこういうことをやるということをＰＲしていただくことで、向かいたいと思う人は出てくると思う。ちなみに私は年齢制限に引っかかる。

○黒川委員　是非、やりがいをもった校長先生が決まることを願っている。

○髙島委員　それに併せて、13ページの３　求める校長像のところが少し気になる。このまま資料がお手元に渡って、志の高い校長先生がこれにチャレンジされると思うのだが、⑴の「小さな島の学校の魅力や良さを掘り起こしながら、（変えるべきところは変えるという）主体性」ということは文面としては分かるのだが、すごく重たい気がする。もし私が校長ならば、すごくチャレンジしたいが、とても重く感じる文面だと思う。

⑵も同じで、「役場職員や地域住民などと分け隔てなく対話ができる」と書い

てある。今はＡＩを活用する時代だからこそ、大人自らが人とのつながりや会話を大切にしながら子どもたちに伝えていただける校長先生が海士に行っていただくといいと思うが、もう少し文章を変えていただくと、もっと捉え方が変わるのではないか。

また、十分に生かされていなかった魅力とは一体どのようなものなのと思う。ここにそういうことが書いてあるわけではないが、深く読み取ると何かそこを示すのかなと感じる。これは私の意見なのだが、こういう資料を読んだときにどう感じるかというのが大きいと思った。

○和田学校企画課管理監　最初の植田委員の御意見にも関わると思う。今年度はこれで実施しているので次年度以降についてはしっかりと調査して、今の点も含めた事前の調整・話し合い等をしながら、より魅力のある制度に進めていければと考えている。御意見として承りたい。

○生越委員　わたしは、これを読んだときに逆にすごく楽しそうだとわくわくした。今年度は町としての配慮が書かれているが、今までここまでの配慮はなかったかなと。こんなに配慮をしてすごいと思った。

しかし、昨年度は募集が出なかった、今年度はどうなるか分からないというところで、 楽しそうだが、やはり負担がとても大きい。例えばお給料が上がるとか帰ってきたら位が上がるなど、そういうメリットがあると手を挙げる先生もいるのではと思ったが、そういうことは県として考えているのか。

○和田学校企画課管理監　メリットについては、ここで即答はできないが、よくよく考えるべきところと思っている。いただいた御意見をもとに考えていきたい。町村としての配慮については、昨年度もこういう人員を配置しているということはあったのだが、今年度は、より具体的に一つ一つ書いてもらっているので、そういう形で魅力的な取組であるというアピールはしっかりしたいと思っている。

―――原案のとおり了承

報告第21号　島根県社会教育委員の改選について（社会教育課）

○横地社会教育課長　（資料を一括説明）

○福島委員　委員の年齢構成、何十代から何十代ということでいいので、分かれば教えていただきたい。

○横地社会教育課長　規定上は、年齢については特段の規定はない。委員をお願いする際にも、年齢というよりも御見識や教育に関する御実績などを考慮して任命させていただいている。年齢については、この選定に関わるところでは重視はしていないのが現状である。

―――原案のとおり了承

報告第22号　島根県立図書館協議会委員の改選について（社会教育課）

○横地社会教育課長　（資料を一括説明）

質問意見なし

―――原案のとおり了承

報告第23号　石見銀山発見５００年島根県記念事業について（文化財課）

○山本世界遺産室長　（資料を一括説明）

○植田委員　すばらしい事業がたくさんあるが、ＰＲはどのようにするのか。

○山本世界遺産室長　東京での記念展については古代オリエント博物館のホームページやＳＮＳ、県の方でも池袋駅周辺の掲示物などで広報をする予定にしている。またＳＮＳ等でも広報を予定している。

○植田委員　全体でＰＲはそれだけか。

○山本世界遺産室長　今のところはそのように広く周知をしたいと思っている。県人会等でもＰＲを予定している。

○植田委員　せっかく石見銀山発見500年、世界遺産登録20周年なので個々のＰＲではなく、 全体として石見銀山をもっと前面に出したＰＲができるといいと思う。それぞれチラシを配ることも、もちろん必要だと思うが、全体として島根県の文化財というものを一つにまとまった形として大々的に。その一つとして、このようなシンポジウムがある、このような記念展があるとか、そういうふうな形にできるといいと思って意見をさせてもらった。これから考えていかれることになると思うので、一つの意見として聞いていただければと思う。

○山本世界遺産室長　御意見を承った。これからまた検討していきたい。

○黒川委員　植田委員の質問に合わせて、ＰＲはもちろんなのだが何をもって県が行う事業として成功になるか。それぞれのイベントで集客何人なのか、石見銀

山に訪れた人数を、このぐらいアップさせるというところが目標なのか、どのように考えておられるのか。
○山本世界遺産室長　何をもって成功かというのがそれぞれの記念展にどれだけ来ていただけるかというところかなと思うが、目標の入館者数については、それぞれの会期の日数や規模も違うので、目標としては定めてはいない。ただし、石見銀山の大森地区への集客だけでなく、大田市の近隣の市町にも来ていただけるように、今以上、それからコロナ渦も踏まえ、令和元年以上の集客ができればと考えている。
○黒川委員　せっかく県としてここに向かってということなので、今の数、過去の数と比較して、これによってどのぐらい県内外に影響があったかということも分かればいいと思う。
○福島委員　対象は広く、一般の方々ということなのだろうと思うが、是非学校にも関心ある子どもたちもいると思うし、これから関心を持ってもらうためにも学校への発信もお願いしたい。
○山本世界遺産室長　実行委員会で行う記念事業について、実行委員会は大田市の教育委員会も組織の中に入っていただいているので、教育関係のところにも、周知はしたいと考えている。
―――原案のとおり了承

井手教育長　閉会宣言　　15時15分